

児童発達支援に係る自己評価結果公表用

公表日: 令和3年 2月12日

事業所名: 松山市児童発達支援センター ひまわり園

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。  
 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

配布数: 50 回収数: 46 回収率: 92%

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	(保護者) 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか  (事業所) 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○				41	4	0	1	・十分な広さで上手にスペースを活用していると思う。(7) ・ホールは走りまわれる程広く教室も十分だと思う。活動内容で広く使う時は部屋を対角線上に利用するなど工夫している。 ・分かれて活動する時もあるようで工夫している。 ・園庭が年長さんには少し狭いかと思うこともあるが、その分散歩や公園遊びをしていたのでうれしかった。	・個々の発達に合わせた活動内容を考慮するとともに、感染症対策にも努めます。
	(保護者) 職員の配置数や専門性は適切であるか  (事業所) 職員の配置数は適切であるか	○				46	0	0	0	・適切だと思う。(6) ・専門性の高い先生がそろっていると思う。(2) ・体調についてはささいなことでも看護師がしっかり見てくれている。 ・子どもたちの個性を理解してくれていると思う。	
	(保護者) 生活空間は、本人にわかりやすい環境になっているか。また、発達や障がいの特性に応じ、設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか  (事業所) 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備が適切になされているか	○			・環境の構造化、個々に合わせた視覚支援に努めている。	44	1	0	1	・工夫されていると思う。(視覚的にもイラストで描いて情報を提供している)(4) ・わかりやすく本人も満足していると思う。(3) ・本人が落ち着いて過ごせている。 ・椅子やバギーなど子どもの発達にあわせている。 ・靴箱、道具入れ、椅子など自分のマークを決めているので子どもにわかりやすい。	
	(共通) 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			・毎日の清掃の中で、整理整頓を心掛けている。換気が悪いため、常に換気扇を作動している。	41	3	1	1	・清潔にしていると思う。(3) ・各クラスは日当たりよく風通しもよい。個別の部屋は静かに集中しやすいような環境になっている。 ・ごみなどが落ちているのを見たことがない。(よく掃除しているのを見る)(3) ・高い遊具にも側に先生がついていて安心。環境がいいので子どもが喜んで通園している。 ・トイレの床に横になってオムツ交換するのは衛生的によくないと思う。バリアフリートイレにあるようなベッドを設置したらいい。	・トイレの使用について、今後も安全や衛生等に配慮しながら取り組んでいきます。トイレ環境の整備については検討していきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
業務改善	1 (事業所) 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	○			・職員会や部会等で業務内容の課題等の検討を行っている。						
	2 (事業所) 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○							・松山市の事業モニタリングや外部監査を受けており、その結果をもとに事業改善を行っています。
	3 (事業所) 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・今年度は研修が難しい時期もあったが、オンライン研修の活用や事業所内では感染防止対策を行いながら実施した。 ・新任職員研修は計画的に実施している。						
適切な支援の提供	1 (保護者) 子どもと保護者のニーズや課題がしっかりと分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか  (事業所) アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○				46	0	0	0	・親の求めることや願いを聞いて、よく計画されている。(6) ・細かな所まで考えていた。 ・懇談で今の様子や前回の支援計画を踏まえ、相談しながら作成している。 ・支援のおかげで課題に取り組む集中力も身につけてきている。	
	2 (共通) 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○				46	0	0	0	・具体的に考えてもらっていると思う。(4) ・子どもに応じた支援ができていると思う。(2) ・相談した上でこちらの希望を聞いてくれ計画を立てている。 ・子どもの苦手なこともどうしたら少しでもできるようになるか考えていたと思う。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
適切な支援の提供（続き）	3 (事業所) 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○			・子どもの特性に合わせて更なる集団、個別を上手く組み合わせる工夫に努めたい。	/	/	/	/		
	4 (共通) 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○				44	1	0	1	・先生と相談しながら進めてもらっている。 ・参観日でできるようになったことが明らかになった。 ・支援を直接見る機会を参観で設けている。 ・なかなか上手にできないこと、時間がかかってしまうこともいろいろな方法で支援してもらった。 ・計画にきちんと沿っていると感じる。(2)	・支援に関して保護者の方に、よりご理解いただけるよう努めます。
	5 (事業所) 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				/	/	/	/		
	6 (保護者) 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか (事業所) 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・子ども達の好奇心をくすぐることのできる内容やその日の様子、表情を見て提供できるように心がけている。	44	0	0	2	・その日によって臨機応変に工夫されていると思う。 ・いつも違った内容で工夫されている。 ・毎日様々な活動を経験できている。(2) ・月ごとに歌もかわって子どもの情緒が豊かになっている。 ・支援計画に沿った内容を組み込み、少しずつ変えているのも連絡ノートで知らせてもらったり、今後のねらいも聞けたりしている。 ・そこまで把握できていない。	・活動内容によって、繰り返し行っていくもの、変化をつけていくもの等組み合わせ工夫しながら取り組んでまいります。
7 (事業所) 支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				/	/	/	/			



区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見
関係機関との連携 (続き)	6 (事業所) 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・今年度は顔を合わせる機会が取りにくかったが他の事業所を知っている職員が連絡を取るようにした。 ・連携の中で助言や研修があった場合は、必要に応じて職員に伝達し共有できるように努めている。						
	7 (共通) 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、事業所以外の子どもと活動する機会があるか		○		・コロナ禍で園交流は実施できなかった。 ・今年度コロナ感染防止のため交流ができない時期や場所が多かった。個別でできる範囲では実施した。	21	6	5	14	・子どもの様子によって交流の回数を増やせたらもっといいと思った。 ・個別にできていたケースも聞いた。 ・来年、再来年に機会があれば、と思う。 ・コロナ禍で交流が難しい年だった。(6) ・交流があるのは知らなかった。例年がどうかかわからない。 ・アフターコロナのことも考えた方法を探すこともある程度必要なのでは。	・コロナ禍のため、個人交流では可能な範囲で交流をしましたが、例年のような交流の回数を確保できませんでした。また、保育園との園交流は今年度実施できませんでしたので、次年度再開に向けた打合せや情報収集を行います。
	8 (事業所) 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		・次年度感染症の状況や情報を把握し地域やボランティア団体等との関係を見直します。						
保護者への説明責任・連携支援	1 (保護者) 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか (事業所) 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				44	2	0	0	・十分な説明があった。(4) ・最初にしてもらった。わからないことは電話で教えてもらった。 ・掲示していることを把握していなかった。	
	2 (保護者) 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか (事業所) 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の丁寧な説明を行っているか	○				46	0	0	0	・十分な説明があった。(3) ・懇談の時に活動内容を実際に見ることができ、先生からの説明、計画を話してもらえた。 ・今の課題を共有し説明してもらった。	
	3 (保護者) 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか (事業所) 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		・できる範囲・方法で保護者勉強会を実施した。 ・クラス内で保護者からの質問に対応の仕方をお伝えしている。 ・ペアレントトレーニングプログラムを活用した支援までには至っていないが、子どもの発達に合わせた相談、アドバイス等は行っている。	34	9	0	3	・問題行動への対応はしてもらっていると思う。 ・行われていて家での困りごとが少なくなっている。 ・PT,OTに加えてクラスの連絡ノートでも相談させてもらいアドバイスももらった。 ・勉強会もよかった。(子どもに対する考えや自分のふるまいを考える機会になった)(3) ・成年期を迎えている保護者の方の話を聞く機会があり勉強になった。 ・参加できなかった。(2) ・保護者勉強会が広義では該当するかもしれないが、ペアトレは時間的には難しいかもしれない。 ・ペアレントトレーニングとは言えない。	・研修等を通して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の知識や技術を学び支援に努めます。



区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援 (続き)	4 (保護者) 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか (事業所) 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・連絡ノートや電話等以外でも共通理解を図るため、映像等を活用する等工夫していく。	45	1	0	0	・家と園では子どものやる気もちも違いノートを見るとこんなことするんだ！と発見があるなど、ノートでやりとりできている。 ・連絡ノートで園の様子がわかりやすく、大切な情報となっている。(4) ・課題を教えてもらい家でできることがわかりやすく嬉しい。 ・よく教えてもらっている。(3) ・少しの変化に気づいてもらい助かっている。 ・双方伝えあっているとは思いますが“共通理解”になっているか？(細かな所のずれは否めないような)	
	5 (保護者) 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか (事業所) 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				46	0	0	0	・懇談があり子どものことをよく見てもらっているため、育児アドバイスももらえる。 ・個別援助や懇談、お迎え時に助言をもらっている。(5) ・懇談や参観日などで相談することができている。(3)	
	6 (保護者) 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか (事業所) 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○			29	9	1	7	・支援できていると思う。 ・クラスの役員さんから連絡をもらって活動について聞いている。 ・保護者同士の連携もできていると思う。 ・なかなか保護者同士で集まることは難しかったが、必要事項はプリントの配布や連絡があった。 ・保護者会の役員での集まりはあるが、コロナ禍で保護者同士の会はほぼできなかった。(8)	・感染症の予防対策を行いながら開催場所や勉強会の提供をし、支援できるように努めます。
	7 (保護者) 子どもや保護者からの苦情や相談について、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、苦情や相談があった場合に迅速かつ適切に対応されているか (事業所) 子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				34	2	0	10	・苦情があるのか…と思うくらい満足しているので、安心している。 ・丁寧に対応してもらっている。 ・延長保育を何度か利用させてもらった。 ・苦情窓口を利用したことがないので対応はわからない。(3) ・どのような苦情があるのか分からない。周知されているか分からない。	・重要事項説明書にある、相談や苦情解決の仕組みをわかりやすく説明するとともに、要望等申し出やすい工夫に努めます。
8 (保護者) 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか (事業所) 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				45	1	0	0	・連絡ノートでいろいろ相談できている。(4) ・薬の服用について等急ぐことは電話で説明してもらった。 ・視覚優位の子にスケジュールや手順書等を使って伝えている。 ・子どもか親に伝えたいことがあったら手紙に書いて伝えてもらったり、子どもの伝えきれない気持ちを代弁してもらったりして助かっている。 ・ノートに書いた伝達事項について、見たのか見ないのかよくわからない時がある。(見た時は“はい”と書くとうわかりやすい)	・今後も意思疎通や情報伝達のためのものとしてノート等を有効に活用します。	



区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の対応 (続き)	5 (事業所) 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○				/	/	/	/		
	6 (事業所) ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・ヒヤリハットの事例収集、及び職員間での情報共有を行い、改善策・防止策に取り組みながら「危険への気づき」を促している。	/	/	/	/		
満足度	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間になると靴を履いて名札を付けろと指差している。休みの日もリュックを持って園に行こうとしている。</li> <li>・本当に楽しく毎日登園している。子どもが笑顔である。(7)</li> <li>・ずっと同じクラスの友だち、クラスの友だち、先生に会えることを楽しみにしている。</li> <li>・クラスの友だちのフルネームを教えてくれる。(2)</li> <li>・優しい先生方に安心して通園している。</li> <li>・毎日バスに乗る前からワクワクしていて親としても嬉しい。</li> <li>・家でひまわり園での活動を自分でやりたいたり先生の名前を呼んだり楽しそうにしている。</li> </ul>									
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・満足している。家では経験できないことをしてもらっている。(6)</li> <li>・先生方がとてもいねいに見てくださり子どもも成長した。(2)</li> <li>・3年間不満に思ったことはなかった。いつもありがとうございます。</li> <li>・4月からできることが増え、親としてもうれしく、子ども本人も褒めるとうれしそうにしている。</li> <li>・どこに相談したらいいかわからない悩みも聞いてもらっている。</li> <li>・子どものできることが格段に増えうれしい。</li> <li>・どう向き合ったらよいか何をしたらいいかわからなかったが、いろいろ示してくれたり話を聞いてくれたりありがたかった。</li> </ul>									